

成恵 HOSPITAL SPOT

2026 夏 第105号

災害から身を守るために
—東松山市、比企郡の
ハザードマップから見た医療体制—



埼玉成恵会病院

災害から

身を守るために



東松山市、比企郡の ハザードマップから見た医療体制



東松山市、比企郡は丘陵や台地、低地が組み合わさった地形であり、河川も入り組んでいます。台風等

による天災時には水害による被害が過去にも発生しており、特に越辺川や市野川といった河川には水が入り込みやすく、水害の被害が起こりうる状況になりかねません。

また、この河川に関しては、重要な交通網とも絡んでおり、通行ができなくなると万が一の救急搬送等もできなくなるため、日頃か

らの避難経路、道路状況のチェックを心がけていかなければいけないと考えています。

埼玉県東松山市では、令和元年東日本台風の経験も踏まえ、水害への備えを平時から確認しておく重要性が高まっています。東松山市は地区別の水害ハザードマップや避難施設一覧を公開しており、自宅や勤務先がどの区域にあり、どの避難所へ向かうべきかを事前に把握できる体制を整えています。



一方で、水害時には道路冠水や交通寸断によって通院や救急搬送が難しくなる可能性があるため、地域の医療体制をあわせて理解しておくことが欠かせません。

埼玉県の救急医療体制は、軽症患者さんに対応する一次救急、入院や手術を要する患者さんに対応する二次救急、生命の危機が切迫した重篤患者さんに対応する三次救急の三層構造で整備されています。東松山市と比企郡の各町村は、



川越比企保健医療圏の中でこの仕組みに組み込まれており、地域の診療所や休日夜間急患診療所が一次救急を担い、比企地区二次救急病院群輪番制に参加する病院群が二次救急を支えています。さらに、より高度な救命医療が必要な場合には、県内の救命救急センターへ搬送される流れとなります。

当院は地域の急性期二次救急病院として救急医療を重視しており、比企エリアで多くの救急車を受け入れてきた実績を持つほか、埼玉

県災害時連携病院の指定を受け、地域消防や警察と連携した災害訓練を重ねています。

水害時に医療を確保するための実践的な備え

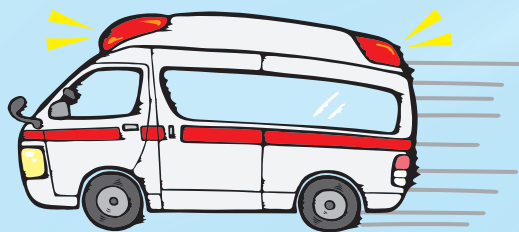
水害時に重要なのは、避難と医療の確保を切り離して考えないことだと思います。持病のある人や通院中の人は、常用薬を数日分多めに備え、お薬手帳や保険証の写しを非常持出袋に入れておきましょう。人工透析や在宅酸素など継続医療が必要な場合は、かかりつけ医や利用事業者と、豪雨時の受診方法や代替先を平時から相談しておくことが望ましいです。

また、軽症であればまず休日夜間急患診療所や救急電話相談を活用し、本当に救急車が必要



な重症患者さんに搬送方法を残す意識も大切です。東松山市や比企地域の医療体制は、平時からの情報確認と早めの避難行動があつてこそ十分に機能すると考えます。水害への備えは、防災用品の準備だけでなく、地域医療とのつながりを確認し、見えるようにすることが重要と考えています。

命と暮らしを
守りましょう



夏は 救急搬送が 急増します

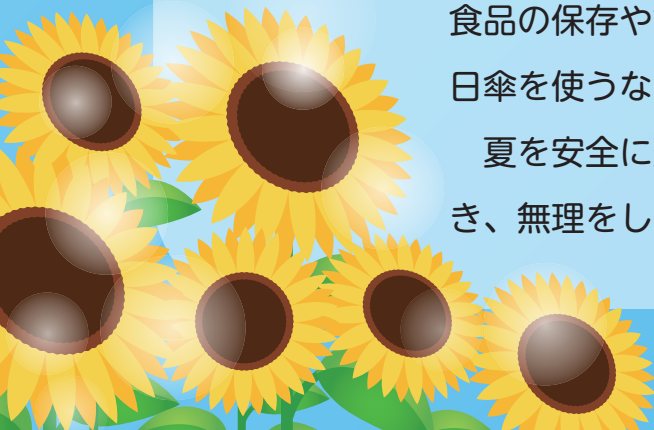
夏は、熱中症だけでなく、脱水症状や食中毒、屋外活動中のけがなどによって救急搬送される人が増える時期です。気温や湿度の上昇により体調を崩しやすくなるほか、夏休みやレジャーの機会が増えることで、事故やけがのリスクも高まります。特に、高齢者や子どもは体に負担がかかりやすく、より注

意が必要です。そのため、水分補給や室温管理を心がけるだけでなく、食事の衛生管理や安全への配慮も大切です。健康で安全に夏を過ごすためには、一人ひとりが予防を意識することが重要です。

ではどのようにして、対策をすれば良いのでしょうか？

日頃から、こまめな水分補給や十分な休養を心がけ、室温や湿度を確認して快適な環境を整えることが大切です。また、食品の保存や調理時の衛生管理に注意し、外出時には帽子や日傘を使うなど、暑さを避ける工夫も必要です。

夏を安全に過ごす予防策として、体調の変化に早めに気づき、無理をしないよう心がけましょう。



市民公開講座 開催報告

2026年6月18日（木）、市民公開講座として「熱中症」をテーマにした講演会を開催しました。これから本格的な暑さを迎える時期に合わせ、地域の皆さまに熱中症について正しく知り、日常生活の中で予防に取り組んでいただくことを目的として実施しました。



講演内容

講演では、まず理事長より「熱中症のタイプを知ろう」というテーマで、熱中症の症状や重症度、注意すべき場面について説明がありました。屋外だけでなく室内でも発症する可能性があること、また早めに体調の変化に気づくことの大切さが伝えられました。

続いて、認定看護師より「熱中症を防ぐためにはどのようにすればよいか」について発表がありました。こまめな水分・塩分補給、暑さを避ける工夫、体調に合わせた休憩の取り方など、日常生活ですぐに実践できる予防策が分かりやすく紹介されました。



会場の様子

講演の途中には小さな劇を交えた説明も行われ、参加者からは「実際にそういう場面がある」と共感の声が聞かれました。身近な場面を想定した内容であったため、熱中症への理解をより深める機会となりました。

最後には、手作りの経口補水液の試飲も行われました。参加者は実際に味を確かめながら、熱中症予防のための備えについて考えることができました。なお、経口補水液は脱水時の水分・電解質補給に用いられるもので、日常的な飲用ではなく、必要な場面で正しく使用することが大切です。

まとめ

今回の市民公開講座は、熱中症について学ぶだけでなく、予防のために日々の生活で何ができるかを参加者一人ひとりが考える機会となりました。会場全体が「今年の夏も熱中症にならないように心がけよう」という思いに包まれ、温かい雰囲気の中で講座を終了しました。

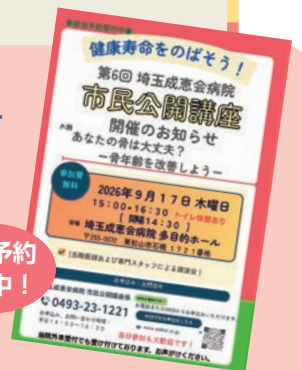
健康寿命をのばそう！ 市民公開講座開催のお知らせ

次回「あなたの骨は大丈夫？
—骨年齢を改善しよう—」

日時：2026年9月17日（木）
15時～16時まで

問い合わせ：
市民公開講座係 0493-23-1221
または受付まで

参加予約
受付中！



消化器病センターのご案内

日本で1年間に新たに大腸がんと診断された人数は、2023年では男性は約9万人、女性は約7万人でした。臓器別に見ると、大腸がんは男性・女性ともに2番目に多いがんです。手術件数は年々増加傾向にあります。

早期発見と再発防止

日本人の死因で、もっとも多い病気はがんです。その中でも大腸がんは、臓器別の死者数で上位に入ります。**大腸がんは、早期の段階で治療を行えば高い確率で、完全に治すこと(治癒)ができます。**大腸がんは早期の段階では、症状を自覚することがほとんどありません。

早期の発見には、40歳以上の方は**大腸内視鏡検査**を受けることをお勧めします。

早期退院、早期社会復帰

当院では消化器病センター顧問 **宇田川晴司**先生(虎の門病院 前分院長)、消化器病センター顧問**上野正紀**先生(虎の門病院副院長)ご指導の下、**虎の門病院の医師と協力し、胃がん・大腸がんに対する腹腔鏡手術**を開始いたしました。

腹腔鏡手術は術後の回復が早く、**早期退院、早期社会復帰**が可能です。

スタッフの紹介 — 虎の門病院と病診連携の関係 —

宇田川晴司先生 週2回

- ◆埼玉成恵会病院 消化器病センター顧問
- ◆虎の門病院 前分院長

上野正紀先生 第4土曜日

- ◆埼玉成恵会病院 消化器病センター顧問
- ◆虎の門病院 副院長 消化器外科(上部消化管)部長

春田周宇介先生

- ◆虎の門病院 上部消化管外科部長
- 担当 胃がん手術

花岡 裕先生

- ◆虎の門病院 下部消化管外科医長
- 担当 大腸がん手術担当

井利雅信先生 常勤 火曜日・金曜午前

- ◆消化器病センター長 虎の門病院
- 担当 消化器内視鏡、肝・胆・脾、腹部超音波



清水広久先生 常勤 月曜～金曜午前(初診別対応あり)

- ◆外科部長
- 専門 消化器外科、一般外科

大楽勝了先生 非常勤 土曜日

- 専門 消化器内科

診察日の詳細はお問い合わせください

手術症例は内視鏡手術で、**胃がん・大腸がん**共に、虎の門病院の経験豊富な医長の先生方と当院の清水先生とで執刀します。

看護師募集

ご自身の経験を埼玉成恵会病院で活かしてください

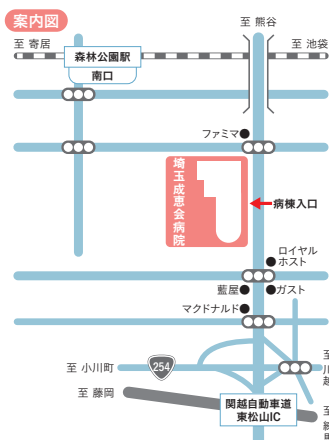
ワークライフバランスを合言葉に働きやすい職場づくりへと取り組んでいます。
自己応募(本人からの直接ご応募)も積極採用しております!
●病院見学や面接などのご案内しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 電話 **0493-23-1221** 担当:上田(看護部長)

→ QRコード・ホームページからも申し込みが可能です。



URL <https://www.seikei.or.jp/>



埼玉成恵会病院

交通 電車 東武東上線 「森林公園駅」下車徒歩6～7分
※池袋駅から森林公園駅まで約1時間

自動車 関越自動車道 東松山インターより3分

〒355-0072 埼玉県東松山市石橋1721

TEL: **0493-23-1221**

ホームページ: seikei.or.jp



成恵会

検索